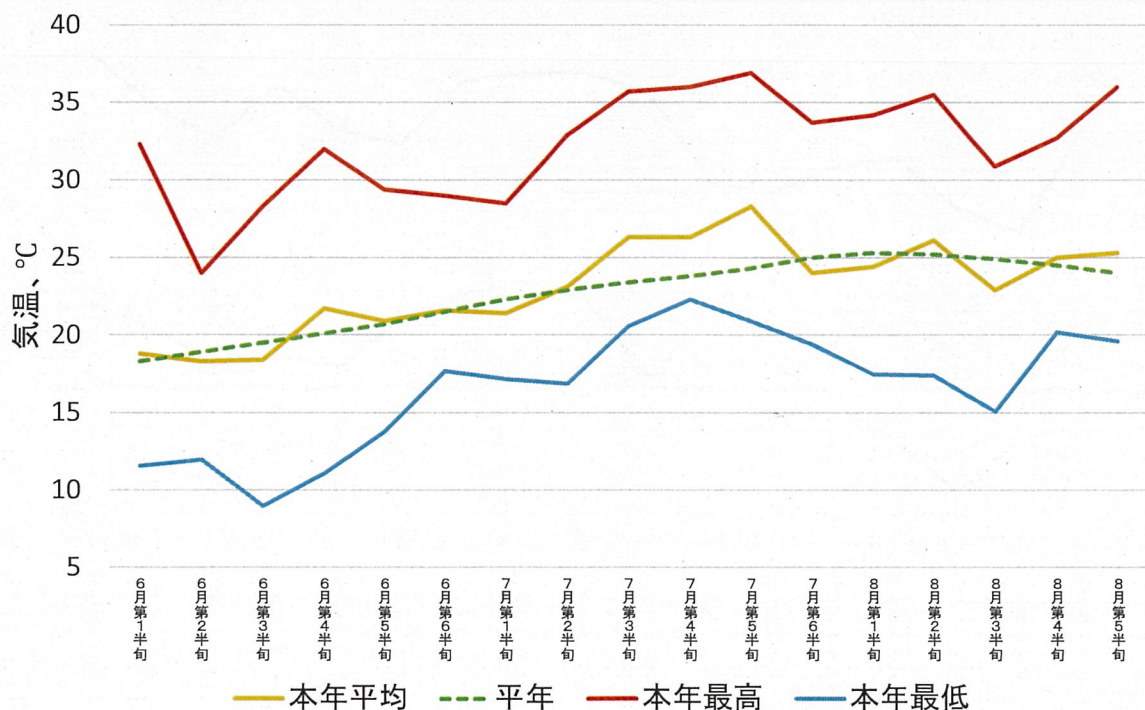


水稻栽培講習会 ～刈り取り調製について～

令和8年9月2日(水)
JA利根沼田営農企画課
利根沼田農業事務所農畜産課

6月以降の気温の推移 アメダス(沼田、標高390m)

6月	20.0℃	(平年比+0.1℃)	(前年比-2.1℃)
7月	24.9℃	(" +1.3℃)	(前年比-1.5℃)
8月	24.7℃	(" ±0.0℃)	(前年比-1.9℃) ※8月は25日迄



6月以降の日照時間、降水量の推移 アメダス(沼田、標高390m)

【平均日照時間の比較】

6月 平年比 86%

7月 平年比 97%

8月 平年比 86%

※8月は25日まで

【平均降水量の比較】

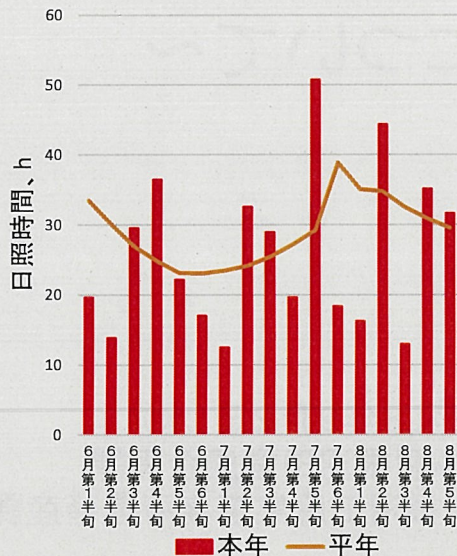
6月 平年比 130%

7月 平年比 84%

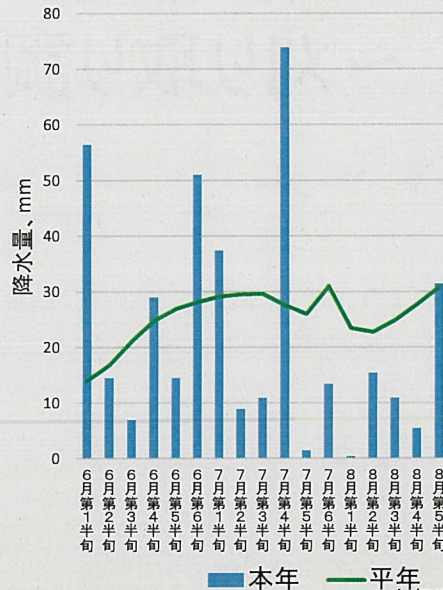
8月 平年比 49%

※8月は25日まで

日照時間(沼田、標高390m)



降水量(沼田、標高390m)



1-2 今年度の気象経過について

6月以降の気温の推移 アメダス(みなかみ、標高524m)

6月 18.7℃ (平年比+0.7℃)

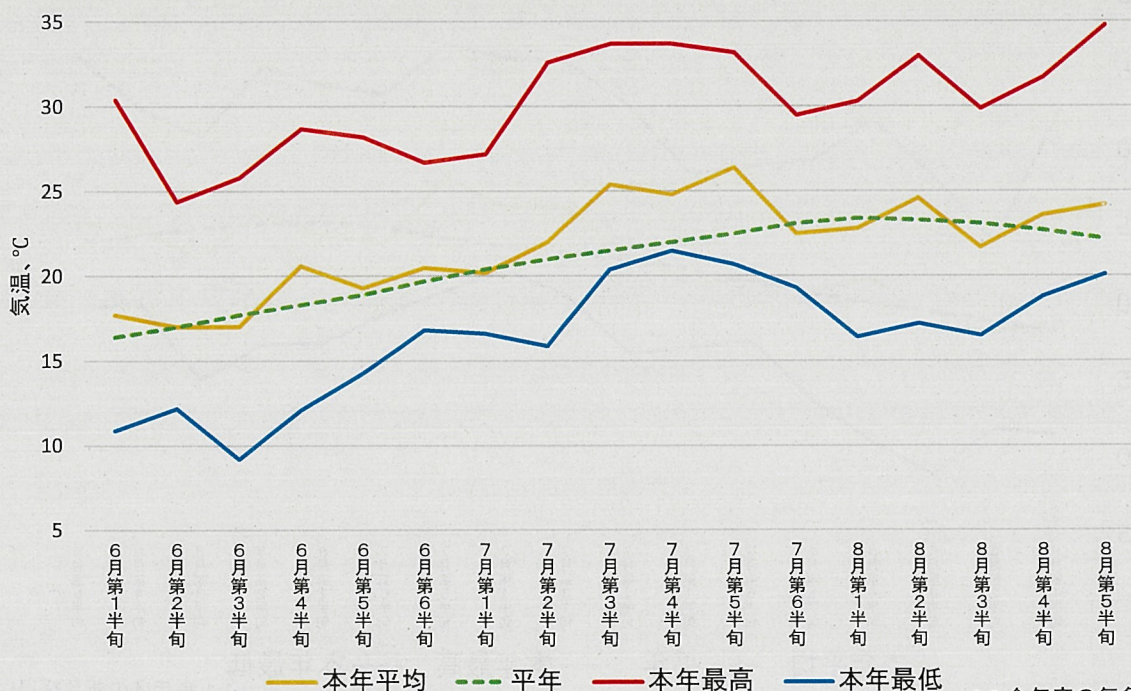
(前年比-2.1℃)

7月 23.6℃ (" +1.8℃)

(前年比-1.3℃)

8月 23.4℃ (" +0.1℃)

(前年比-1.7℃) ※8月は25日まで



1-3 今年度の気象経過について

6月以降の日照時間、降水量の推移 アメダス(みなかみ、標高524m)

【平均日照時間の比較】

6月 平年比 **77%**

7月 平年比 **91%**

8月 平年比 **88%**

※8月は25日まで

【平均降水量の比較】

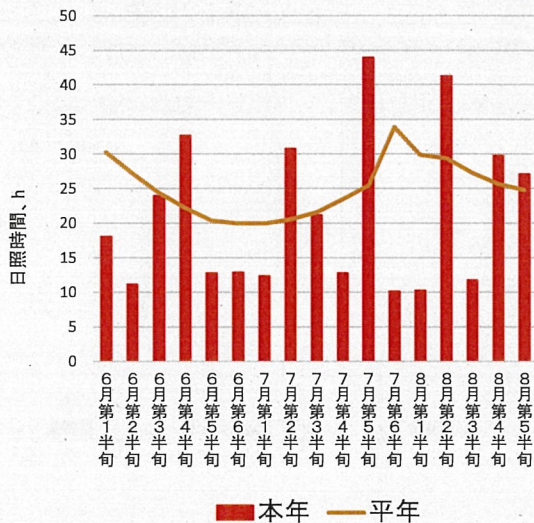
6月 平年比 **140%**

7月 平年比 **79%**

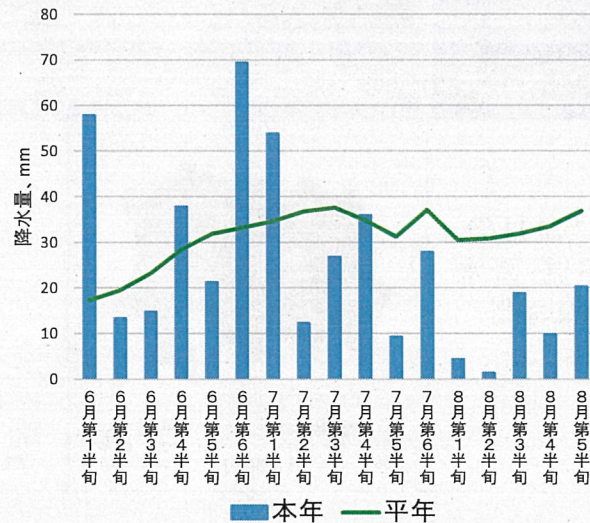
8月 平年比 **34%**

※8月は25日まで

日照時間(みなかみ、標高524m)



降水量(みなかみ、標高524m)



1-4 今年度の気象経過について

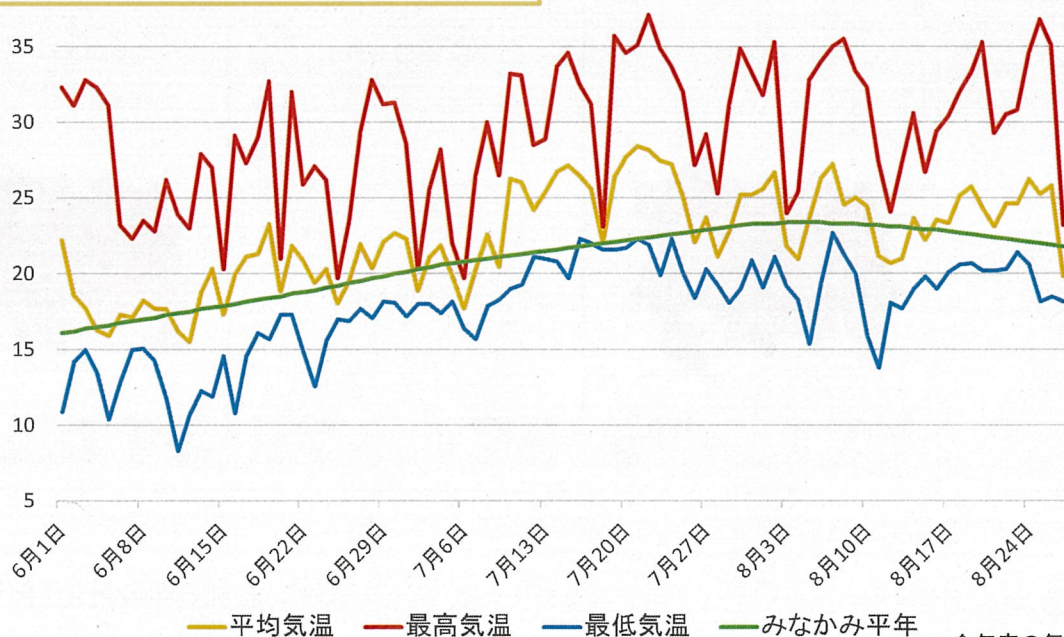
みなかみ町新治の気温の推移 6月～8月の気温の推移(新治、積算温度計)

6月 19.3℃

7月 24.0℃(前年比-1.7℃)

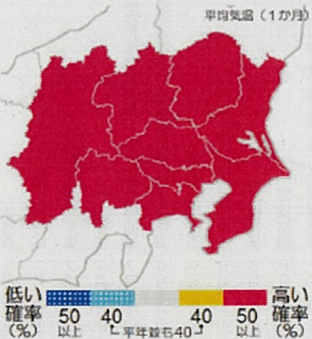
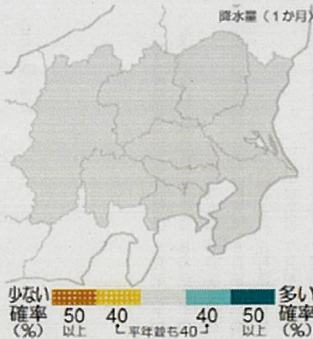
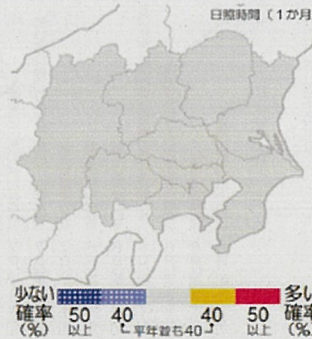
8月 24.0℃(前年比-1.9℃)

※8月は27日まで



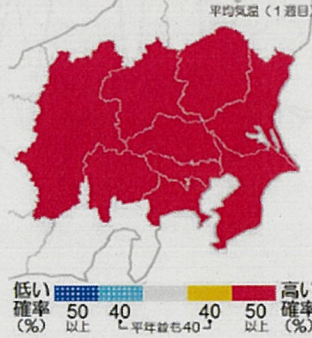
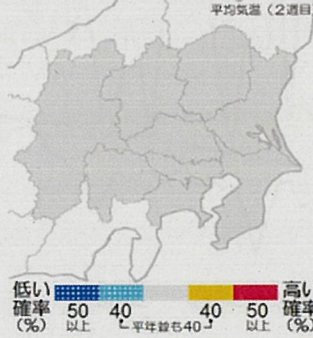
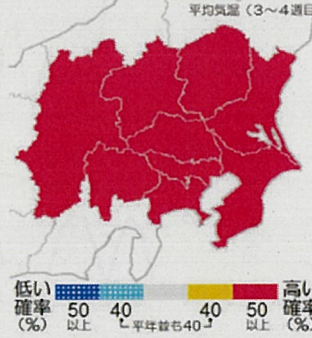
1-5 今年度の気象経過について

向こう1か月の天候の見通し(平均気温・降水量・日照時間)
関東甲信地方(8/29～9/28)

	平均気温	降水量	日照時間
関東甲信地方	低10 並40 高50% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30 ほぼ平年並の見込み
向こう1か月の 平均気温・降水量・日照時間 の予報			

気象庁 令和8年8月27日発表
1-6 今年度の気象経過について

向こう1か月の週別の天候と平均気温
関東甲信地方(8/29～9/28)

	1週目 8/29～9/4	2週目 9/5～9/11	3～4週目 9/12～9/25
天候	天気は数日の周期で変わると う。	天気は数日の周期で変わると う。	天気は数日の周期で変わると う。
関東甲信地方	低10 並40 高50% 高い見込み	低20 並50 高30% 平年並の見込み	低10 並30 高60% 高い見込み
向こう1か月の 週別の天候と 平均気温			

気象庁 令和8年8月27日発表
7
1-7 今年度の気象経過について

令和8年産 管内の水稻の生育状況

【現在の生育ステージ】 乳熟期～黄熟期

- 6月から7月10日頃までは気温は平年並みに推移し、日照時間が比較的短かったため、初期生育はやや緩慢に進んだ。
- 7月10日頃から25日頃にかけて気温が高くなり、生育が進んだ。出穂期は平年並みからやや早まった。
- 7月25日以降は気温は平年並みに推移しており、現状ではR5～R7の高温年よりも登熟日数は長くなる見込み。

【今後の管理のポイント】

- 出穂後は**飽水管理(間断かん水)**を基本としましょう。土壤に酸素を供給し、生育後半の良好な登熟を促しましょう。
- 出穂期以降の高温により、白未熟粒や胴割粒の増加が懸念されるため注意が必要です。
- 完全落水は**出穂後30日以降**を目安にしましょう。
- 完全落水後も、ほ場の状態に応じて走り水を行いましょう。

2-1 今年度の生育概況と各種対策

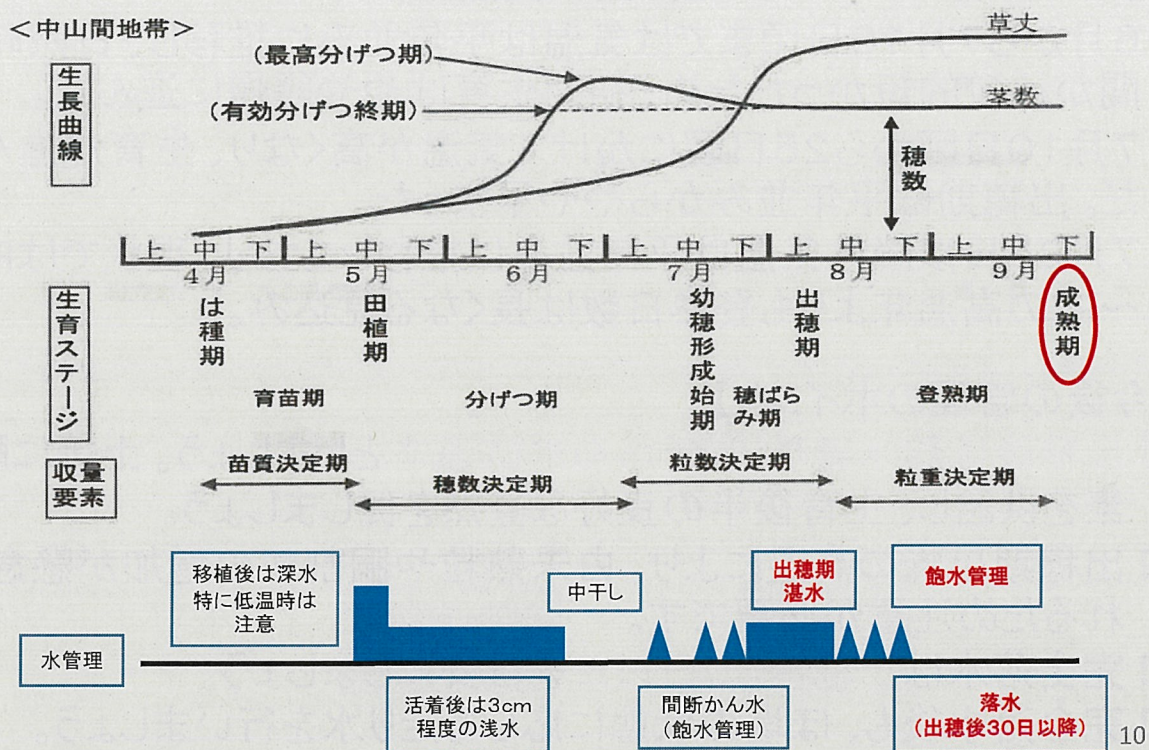
管内の作況ほ等の生育調査結果

地点（品種）	移植期	移植後20日調査		移植後40日調査		出穂期
	月日	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	月日
下沼田(コシヒカリ)	5月20日	33.8	278	56.3	562	7月31日
平年比	±0日	109	111	106	94	1日早
鎌田(ひとめぼれ)	5月26日	22.2	136	43.5	291	8月15日
4カ年比	+5日	105	85	116	63	8日遅
新治(コシヒカリ)	5月15日	—	—	42.2	437	8月8日
平年比	-1日	—	—	97	126	±0日

※鎌田はR4～品種変更のため4カ年比、下沼田の平年値は過去10カ年、新治はH25からの平年だが、年度によって未調査の項目あり

- 田植え後40日調査では、沼田片品作況ほど草丈が高い傾向があった。
- 出穂期は、鎌田では遅かったものの、下沼田や新治では平年並かやや早まった。

水稻の生育ステージと水管理



2-3 今年度の生育概況と各種対策

収穫までの水管理におけるポイント

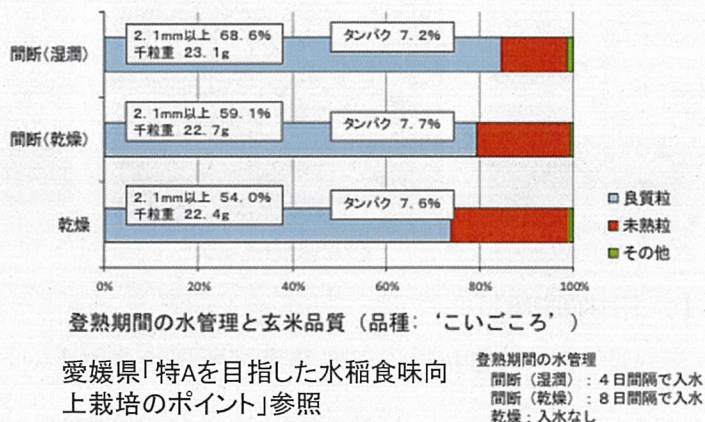
出穂期～穂揃期	穂揃期～成熟期まで	完全落水以降
□ 稲が最も水を必要とするのが出穂期前後のため、この時期はしっかり湛水状態を保つ □ 概ね出穂期前後7日間は湛水状態にする。	□ 穂揃期以降は、飽水管理(間断かん水)を基本とする。 □ 高温時はかん水回数を増やしたり、夜間入水して地温を低下させる。 □ 完全落水は出穂後30日以降にする。	□ 落水後の過乾燥は胴割れの原因になるため、乾燥する場合は走水をおこなう。

登熟期の水管理と品質・食味との関係性

【登熟期間の水管理】

登熟期を湿潤気味(飽水管理)で管理すると粒厚が厚くなり、玄米タンパク含有率も低くなるというデータがある。乾燥気味であると未熟粒も増える。

※湿田か乾田か、中干しをきちんとしてるかで最適な水管理は異なるため注意



【落水時期の影響】

- ・ 収穫前の落水を遅くすることで、粒厚は厚くなる。収穫5日前程度の落水が効果が高い。(愛媛県)
- ・ 早期落水すると整粒が低下し、未熟粒が増加するため、最終かん水は出穂後25日以降とする。(新潟県)

※コンバイン収穫に支障が出ない範囲で行う

水は水稻の生育にとって重要であるため、登熟後期まで水を切らし過ぎないことが重要。
 ほ場の土質に応じた適切な水管理を行う。

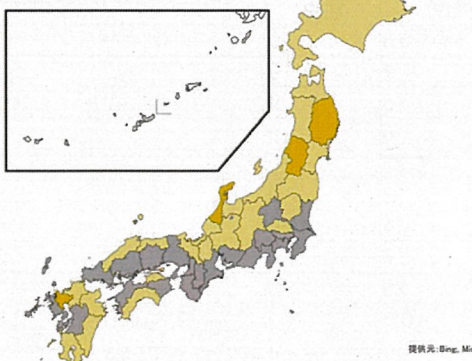
12

2-5 今年度の生育概況と各種対策

R8 斑点米カメムシ類の動向(全国)

令和8年8月14日時点の斑点米カメムシ類の注意報・警報の発表状況

注意報発表都道府県
 (件数:30件(26道府県))
 ■:1回発表 ■:2回発表
 警報は発表件数は0件



発表月日	都道府県名	発表月日	都道府県名
6月11日	鹿児島県	7月23日	宮城県
6月15日	宮崎県	7月27日	石川県(2)
6月22日	佐賀県	"	山形県(2)
7月2日	山形県	7月28日	岩手県(2)
"	石川県	"	秋田県
7月8日	福井県	7月29日	新潟県
7月9日	富山県	"	長野県
7月10日	青森県	"	佐賀県(イ、2)
7月13日	福島県	"	埼玉県(イ)
"	高知県	"	福岡県(イ)
7月14日	岩手県	7月31日	鳥根県(イ)
7月15日	滋賀県	8月3日	北海道
"	栃木県(イ)	8月7日	香川県
7月22日	鳥取県(イ)	"	大分県
"	岐阜県(イ)		
7月23日	京都府(イ)		

(イ): イネカメムシを含んだ注意報

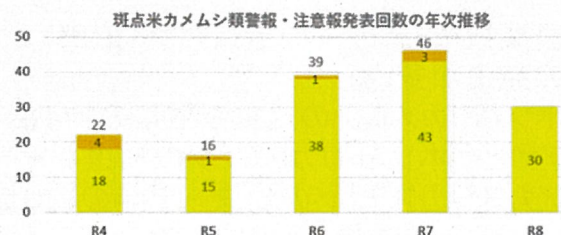
・ 令和8年8月14日時点では、斑点米カメムシ類の注意報が全国で30件発表。

(R6は38件、R7は43件)

・ R6、R7と比べると件数は少ないが、R4、R5と比べると件数は多い。

・ 群馬県は未発表。

種類	発表の頻度	内容
警報	都道府県の判断により適宜発表	重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講じる必要が認められる場合に発表
注意報	都道府県の判断により適宜発表	警報を発表するほどではないが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要が認められる場合に発表



■: 8月14日まで ■: 8月15日以降

2-6 今年度の生育概況と各種対策

R8 斑点米カメムシ類の動向(利根沼田)



ホソハリカメムシ



アカスジカスミカメ



アカヒゲホソミドリカスミカメ



イネカメムシ

【水田内調査】

R8利根沼田農業事務所斑点米カメムシ類すくり取り調査結果(水田内)

調査地点	調査日	イネカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソミドリカスミカメ		アカスジカメムシ		その他カメムシ
		幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	
川場	7月28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8月14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	川場平均	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みなかみ	7月28日	0	0	0	0	0	3	0	2	0
	8月5日	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	8月14日	0	0	0	0	0	1	0	2	0
	みなかみ平均	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	1.7	0.0

※20回振り×4か所の合計数を記載

14

2-7 今年度の生育概況と各種対策

R8 斑点米カメムシ類の動向(利根沼田)

【雑草地調査】

R8利根沼田農業事務所斑点米カメムシ類すくり取り調査結果(雑草地)

調査地点	調査日	イネカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソミドリカスミカメ		アカスジカメムシ		その他カメムシ
		幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	
川場	7月15日	0	0	0	22	0	13	0	0	8
	7月28日	0	0	1	12	0	1	0	0	4
	8月5日	0	0	0	28	0	5	0	0	1
	8月14日	0	0	6	46	0	6	0	0	8
	川場平均	0	0	1.75	27	0	6.25	0	0	5.25
みなかみ	7月15日	0	0	0	1	0	3	0	0	5
	7月28日	0	0	0	11	0	4	0	4	0
	8月5日	0	0	0	15	0	10	0	1	3
	8月14日	0	0	8	2	0	25	0	2	1
	みなかみ平均	0.0	0.0	2.0	7.3	0.0	10.5	0.0	1.8	2.3

※20回振り×4か所の合計数を記載

農業技術センターの定点調査(沼田)でも雑草地での発生が多い。

ホソハリカメムシの成虫→平年の約4倍

アカヒゲホソミドリカスミカメの幼虫→平年の約6倍

アカスジカスミカメの幼虫→平年の約9倍

・利根沼田地域では、本田内の個体数は少ないものの、雑草地では個体数が多く、地域全体の生息密度は高いと考えられた。

15

2-8 今年度の生育概況と各種対策

台風への対策について

【事前対策】

- ・大雨に対応できるよう、用排水路の点検・補修整備を行う。
- ・風雨による影響を軽減させるため、**台風前は湛水状態**としておく。



白穂になった出穂直後の穂

【事後対策】

- ・特に出穂しているほ場では、白穂の発生防止や台風通過後のフェーン現象（高温・乾燥・強風）による品質低下を防ぐため、**風がやむまで湛水管理**とする。
- ・冠水時や土砂が流入した場合は、**速やかに排水**するとともに、流入した土砂を除去し、生育の回復を図る。
- ・冠水や暴風雨により、白葉枯病やいもち病が発生しやすくなるため、発生状況に留意し、適切な防除に努める。
- ・出穂しているほ場で倒伏した場合は、できる限り株を立て直し、**穂が水面や田面に接触しないようにする**。

2-9 今年度の生育概況と各種対策

収穫適期について

収穫適期を判定するポイント

帯緑色籾歩合 10%

出穂後積算平均気温

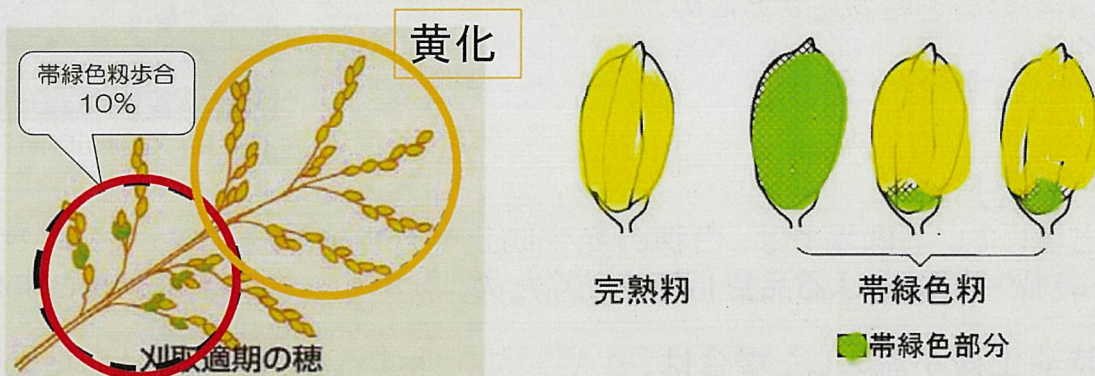
コシヒカリ 950～1050℃

ひとめぼれ 950～1050℃

これらを確認して適期収穫を目指しましょう！

帯緑色籾歩合

1穂の中で青色が残った籾（帯緑色籾）の割合
10%が収穫適期です



帯緑色籾歩合	10%	5%	2%	0%
収穫時期	刈り始め		刈り取り晩限	刈り遅れ
	←理想的な収穫時期→			
	←収穫可能時期→			

18

3-2 収穫適期について

帯緑色籾歩合の求め方

帯緑色籾歩合（％）＝帯緑色籾数÷全籾数×100



平均的な生育の株を3株
選びます。各々の株の中
で一番草丈の長い穂を1
本取り、穂をしごいて籾を
トレイなどに入れます。

※1穂は概ね70粒です。



不稔もみを取り除く



帯緑色籾(わずかでも緑色が
残っている籾は含める)



完全熟籾

19

3-3 収穫適期について

表の見方

出穂期		成熟期		収穫適期		登熟日数	平均気温
月	日	平年	本年	始期	～ 終期		
7	25	9月2日	9月3日	9月3日	～ 9月8日	40	23.3
	26	9月3日	9月4日	9月4日	～ 9月8日	40	23.3
	27	9月4日	9月5日	9月5日	～ 9月10日	40	21.4
	28	9月5日	9月6日	9月6日	～ 9月11日	40	23.4
	29	9月7日	9月7日	9月7日	～ 9月12日	40	25.1
	30	9月8日	9月9日	9月9日	～ 9月13日	41	26.0

出穂期が7月28日なら…

出穂後の積算平均気温から収穫適期は9月6日からになる。

※ 8/16までの気温集計なので、今後の天候、気温により前後する。

※現在集計している気温以降は、平年の気温を用いて算出。

3-4 収穫適期について

用語の確認 ～出穂期とは～

積算平均気温による収穫適期は**出穂期**からの日数で推測できます。

●出穂はしり(走り穂)

ほ場の中で、はじめて出穂がみられた時期

●出穂期

ほ場全体の40～50%の茎から出穂した時期

●穂揃い期

ほ場全体の80～90%が出穂した時期



葉鞘から籾が一粒でも出現した時点をもその茎の出穂とする。



出穂はしり

2
～
4
日後



出穂期

2
～
4
日後



穂揃い期

21

千葉県農林総合研究センターHP 参照

3-5 収穫適期について

出穂後積算平均気温による収穫適期予測 沼田(標高390m) コシヒカリ

出穂期		成熟期		収穫適期		登熟日数	平均気温
月	日	平年	本年	始期	～ 終期		
7	25	9月2日	9月3日	9月3日	～ 9月7日	40	23.1
	26	9月3日	9月4日	9月4日	～ 9月8日	40	23.7
	27	9月4日	9月5日	9月5日	～ 9月9日	40	21.9
	28	9月5日	9月6日	9月6日	～ 9月10日	40	23.4
	29	9月7日	9月7日	9月7日	～ 9月11日	40	25.8
	30	9月8日	9月8日	9月8日	～ 9月12日	40	26.2
	31	9月9日	9月9日	9月9日	～ 9月14日	40	26.1
8	1	9月10日	9月10日	9月10日	～ 9月15日	40	27.0
	2	9月11日	9月11日	9月11日	～ 9月16日	40	22.7
	3	9月12日	9月12日	9月12日	～ 9月17日	40	22.0
	4	9月14日	9月13日	9月13日	～ 9月18日	40	24.3
	5	9月15日	9月15日	9月15日	～ 9月20日	41	26.8

この数値は目安なので、必ず帯緑色籾歩合や穂軸や枝梗の黄化程度、籾水分などを総合して判断するようにして下さい。※8/27以降は沼田平年の気温から算出

22

3-6 収穫適期について

出穂後積算平均気温による収穫適期予測 沼田(標高390m) コシヒカリ

出穂期		成熟期		収穫適期		登熟日数	平均気温
月	日	平年	本年	始期	～ 終期		
8	6	9月16日	9月16日	9月16日	～ 9月21日	41	28.2
	7	9月17日	9月17日	9月17日	～ 9月22日	41	25.1
	8	9月18日	9月19日	9月19日	～ 9月24日	42	25.4
	9	9月20日	9月20日	9月20日	～ 9月25日	42	24.8
	10	9月21日	9月21日	9月21日	～ 9月27日	42	22.5
	11	9月23日	9月22日	9月22日	～ 9月28日	42	22.1
	12	9月24日	9月24日	9月24日	～ 9月29日	42	21.6
	13	9月25日	9月25日	9月25日	～ 9月30日	43	24.7
	14	9月26日	9月26日	9月26日	～ 10月2日	43	23.5
	15	9月28日	9月27日	9月27日	～ 10月3日	43	24.1

この数値は目安なので、必ず帯緑色籾歩合や穂軸や枝梗の黄化程度、籾水分などを総合して判断するようにして下さい。※8/27以降は沼田平年の気温から算出

23

3-7 収穫適期について

出穂後積算平均気温による収穫適期予測
みなかみ(標高524m) コシヒカリ

出穂期		成熟期		収穫適期		登熟日数	平均気温
月	日	平年	本年	始期	～ 終期		
7	25	9月5日	9月4日	9月4日	～ 9月9日	42	24.1
	26	9月6日	9月5日	9月5日	～ 9月10日	42	21.6
	27	9月7日	9月6日	9月6日	～ 9月11日	42	22.4
	28	9月8日	9月7日	9月7日	～ 9月12日	42	21.0
	29	9月9日	9月8日	9月8日	～ 9月13日	42	21.7
	30	9月10日	9月9日	9月9日	～ 9月14日	42	24.1
	31	9月11日	9月11日	9月11日	～ 9月16日	43	24.2
8	1	9月12日	9月12日	9月12日	～ 9月17日	43	24.2
	2	9月14日	9月13日	9月13日	～ 9月18日	43	25.0
	3	9月15日	9月14日	9月14日	～ 9月20日	43	21.7
	4	9月16日	9月15日	9月15日	～ 9月21日	43	20.4
	5	9月17日	9月17日	9月17日	～ 9月22日	44	22.9

この数値は目安なので、必ず帯緑色籾歩合や穂軸や枝梗の黄化程度、籾水分などを総合して判断するようにして下さい。※8/27以降はみなかみ平年の気温から算出

24

3-8 収穫適期について

出穂後積算平均気温による収穫適期予測
みなかみ(標高524m) コシヒカリ

出穂期		成熟期		収穫適期		登熟日数	平均気温
月	日	平年	本年	始期	～ 終期		
8	6	9月19日	9月18日	9月18日	～ 9月23日	44	25.3
	7	9月20日	9月19日	9月19日	～ 9月25日	44	26.5
	8	9月21日	9月21日	9月21日	～ 9月27日	45	23.8
	9	9月23日	9月22日	9月22日	～ 9月28日	45	24.0
	10	9月24日	9月23日	9月23日	～ 9月30日	45	23.5
	11	9月25日	9月25日	9月25日	～ 10月1日	46	21.2
	12	9月27日	9月26日	9月26日	～ 10月2日	46	20.7
	13	9月28日	9月27日	9月27日	～ 10月4日	46	21.0
	14	9月30日	9月29日	9月29日	～ 10月5日	47	23.4
	15	10月1日	9月30日	9月30日	～ 10月7日	47	22.3

この数値は目安なので、必ず帯緑色籾歩合や穂軸や枝梗の黄化程度、籾水分などを総合して判断するようにして下さい。※8/27以降はみなかみ平年の気温から算出

25

3-9 収穫適期について

出穂後積算平均気温による収穫適期予測 新治積算温度計 コシヒカリ

出穂期		成熟期		収穫適期			登熟日数	平均気温
月	日	みなかみ 平年	本年	始期	～	終期		
7	25	9月5日	9月3日	9月3日	～	9月8日	41	25.1
	26	9月6日	9月4日	9月4日	～	9月9日	41	22.1
	27	9月7日	9月5日	9月5日	～	9月10日	41	23.7
	28	9月8日	9月6日	9月6日	～	9月11日	41	21.1
	29	9月9日	9月7日	9月7日	～	9月12日	41	22.8
	30	9月10日	9月8日	9月8日	～	9月14日	41	25.2
	31	9月11日	9月10日	9月10日	～	9月15日	42	25.2
8	1	9月12日	9月11日	9月11日	～	9月16日	42	25.6
	2	9月14日	9月12日	9月12日	～	9月18日	42	26.7
	3	9月15日	9月14日	9月14日	～	9月19日	43	21.8
	4	9月16日	9月15日	9月15日	～	9月20日	43	21.0
	5	9月17日	9月16日	9月16日	～	9月21日	43	23.7

この数値は目安なので、必ず帯緑色籾歩合や穂軸や枝梗の黄化程度、籾水分などを総合して判断するようにして下さい。※8/27以降はみなかみ平年の気温から算出

26
3-10 収穫適期について

出穂後積算平均気温による収穫適期予測 新治積算温度計 コシヒカリ

出穂期		成熟期		収穫適期			登熟日数	平均気温
月	日	みなかみ 平年	本年	始期	～	終期		
8	6	9月19日	9月17日	9月17日	～	9月23日	43	26.3
	7	9月20日	9月19日	9月19日	～	9月24日	44	27.2
	8	9月21日	9月20日	9月20日	～	9月26日	44	24.5
	9	9月23日	9月21日	9月21日	～	9月27日	44	25.0
	10	9月24日	9月23日	9月23日	～	9月29日	45	24.4
	11	9月25日	9月24日	9月24日	～	10月1日	45	21.2
	12	9月27日	9月26日	9月26日	～	10月2日	46	20.7
	13	9月28日	9月27日	9月27日	～	10月3日	46	21.0
	14	9月30日	9月28日	9月28日	～	10月5日	46	23.7
	15	10月1日	9月30日	9月30日	～	10月7日	47	22.2

この数値は目安なので、必ず帯緑色籾歩合や穂軸や枝梗の黄化程度、籾水分などを総合して判断するようにして下さい。※8/27以降はみなかみ平年の気温から算出

27
3-11 収穫適期について

コンバイン収穫・乾燥調製時の注意点

コンバイン収穫時の注意点	乾燥・調製作業時の注意点
□ 朝露が消えてから作業開始することで、粃の損傷防止、作業能率の向上等につながる。 9月は台風等の影響により、長雨になることが多いので、気象予報を見ながら早めの作業を心がけましょう。	□ 収穫直後の粃は水分が高く変質しやすいため、速やかに乾燥に移す。 □ 乾燥速度は、毎時乾減率0.8%以下とする。 □ 高水分粃は、はじめは通風乾燥のみとし、その後40℃程度の低温乾燥を行う。 □ 過乾燥の米を炊飯すると、亀裂が発生し、そこからデンプンが溶出するため、べつついた食感となり、食味が低下する。 □ 粃の乾燥仕上水分率は14.0～14.5%（玄米で14.5～15.0%）

28

3-12 収穫適期について

収穫時の注意点まとめ

- 刈り遅れは胴割粒、着色粒を招く
- 高温年は登熟も早まるので注意する
- 出穂後の積算温度、帯緑色粃歩合、粃水分を総合して判断
- 完全落水は出穂後30日以降とし、乾燥する場合は走水を行う
- 倒伏、生育遅れ箇所は刈り分け
- 収穫後は稲わらの分解を促進させるため、早めに耕起を行う



胴割粒



水口生育遅れ

29

3-13 収穫適期について

収穫後は早期の秋耕を！

- ・稲わらは有用な有機物資源であり、土づくり資材として高い効果が期待できる。
- ・稲わらが十分に分解されないと、**翌年のワキの原因**となり、生育を阻害する要因になる。
- ・稲わらの分解は、**地温15℃以下**になると、分解する微生物の活動が低下するため、地温18℃以上の時期に行うことが望ましい。
- ・秋の気温が高くなってきており、**発生したひこばえはカメムシの餌場や増殖源**となるため注意する。



収穫後なるべく早く(10月中を目処)、稲わらをすきこみましょう！

排水不良のほ場では、分解促進のために、窒素成分で3～4kg(石灰窒素なら約1袋)を施用し、できるだけ早くすき込むようにしましょう。

30

3-14 収穫適期について



R6.11.11 発地新田で撮影したひこばえ